

令和6年度 指定管理者評価結果票

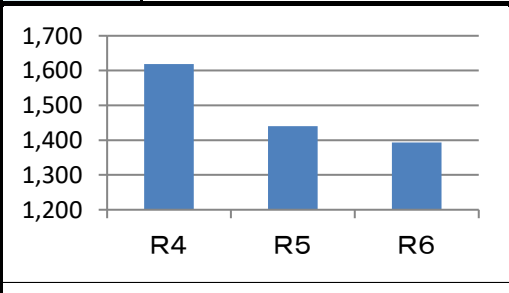
所 管 課	健康福祉部 障害福祉課
評価対象期間	R6.4.1 ~ R7.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立サニーヒルズみずなみ
	所 在 地	瑞浪市陶町猿爪657-34
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所 在 地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	R3.4.1 ~ R8.3.31
指定管理業務の内容		・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
R4	1,619
R5	1,440
R6	1,393



R4	1,619
R5	1,440
R6	1,393

3 令和6年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	294,236
利 用 料 金	293,865
指定管理料	0
そ の 他	371
支 出 計	300,140
人 件 費	216,774
施設管理費	24,985
そ の 他	58,381
差 引	▲ 5,904
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・職員の確保、レベルアップの取組を進めてほしい。	・職員のレベルアップを図るために、新任職員に対してはチューター制度を実施し、先輩職員による指導を行っている。職員個別ではズームでの研修に参加し、全体では毎月研修を実施しスキルアップに努めた。
・身体状況から「事故」はやむを得ないとも言えるが、介助補助機器使用にからむ事故もあるので対策を進めてほしい。	・介助補助機器については、利用者の体調の変化に合わせて使用するよう見直しを行った。今後も現状に合った介助補助機器の導入を検討していく。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.8	・職員の資質向上に努めている。 ・第三者による月1の「なんでも相談」終了後に相談員と園内を巡回し、利用者に声掛けするなど、状況を把握・確認している点は、高く評価できる。 ・利用者と職員がともに楽しめる行事があったり、職員研修を充実させたり、やりがい向上させる取組がなされている。
設置目的の充足状況	3.3	・利用促進のため、各事業所・機関と連携をとっている。 ・定員充足に努めること。
公共性の確保の状況	3.8	・事故対応の見直しを行ったこと。 ・利用者の方の意向等をしっかりと確認されて反映された取組がなされている。 ・薬に関わる事故を防ぐよう、管理をより一層徹底すること。
経営状況	3.3	・経営に対する職員の意識付けが行われており、組織全体としての方向性を共有できている点は高く評価できる。 ・利用者の長期入院を防ぐよう、健康管理に力を入れている。 ・収支の安定に努めていただきたい。
派生的効果	3.0	・近くのコンビニと利用者との交流は、お互いを知るよい機会になっていて、よい試みである。 ・地域の関係機関との交流、情報共有を進めていただきたい。 ・感染症防止に気を配りながら、徐々に対外的な行事、地域の方々との交流を再開していただきたい。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	・協定書に定めるサービス水準を満たし、適切に管理されている。 ・利用者の意向等を確認し、反映させた取組がなされており、安心、安全、快適に利用できるよう運営がなされている。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する